

陸上無線通信委員会 報告（案）に対する意見募集の結果及び意見に対する考え方

－「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件」－

（平成 29 年 2 月 10 日～平成 29 年 3 月 12 日意見募集）

提出件数 4 件（法人 3 件、個人 1 件）

No.	意見出者	提出意見	考え方	修正の有無
1	XGP フォーラム	デジタルコードレス電話について新たに TD-LTE 方式を導入することは、IoT 等の多種多様化する市場のニーズに合ったものであり、電気通信市場の活性化が図れるものと考えており、陸上無線通信委員会報告（案）に賛成致します。	本報告（案）への賛同意見として承ります。	なし
2	情報通信ネットワーク産業協会	<p>1. 1. 2. 4 sXGP 方式の概要 デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件の検討結果に賛同いたします。 1. 9GHz 帯のデジタルコードレス電話の高度化において新しく sXGP 方式を導入することによりオフィス内でのさまざまな利用シーンの多様化が見込め、ユーザの利便性が増すことと期待しています。</p> <p>2. 4. 2. 6 複数方式の共存時における運用方法に関するルール配慮 デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件の検討結果に賛同いたします。 DECT の利用シーンが増えることで PHS と DECT の干渉が増加する懸念がありましたが、参考資料 8 にて、現状の課題などを取り上げ、そして民間規格の運用ルールを定めることは重要と考えます。今後、複数方式がこれまでと変わりなく、市場で共用できるよう期待しています。</p> <p>3. 第 6 章 今後の検討課題 新方式での利用について 6.2 項などの課題が残っているようですが、新システムが早期に利用できるよう、今後の推進も是非お願いいたします。</p>	本報告（案）への賛同意見として承ります。	なし

3	株式会社 NTT ドコモ	<p>3. 2. 3 sXGP 方式のその他の技術的条件(6) IMSI の管理及び 6. 2 IMSI の管理方法</p> <p>第4章共用検討、第5章技術的条件については適切であると考えます。</p> <p>一方、3. 2. 3章、6. 2章に、課題として記載されているIMSIの管理方法については、具体的な管理方法、運営方法について、責任分担や、管理者選択の適切性、公平性の観点等から、慎重な検討が必要であると考えます。今後、適切に検討が行われることを希望します。</p>	<p>本報告(案)への賛同意見として承ります。</p> <p>また、IMSIの管理方法に関しましては、制度化に際して検討されるべきものと考えます。</p>	なし
4	個人	<p>1. 3. 1 (5) 基盤認証を行うのは望ましいと考える。</p> <p>2. その他</p> <p>当方は sXGP の導入に反対ではない立場であるが、sXGP の導入とこの利用により、携帯電話や公衆 PHS、他一般的無線機器との通信が可能になる事によって、利便性が高まると同時に、家庭用電話機器のセキュリティを大幅に高めなければならない事態になるのが気掛かりである。</p> <p>ここで、当方は、電話機親機においては子端末の登録状況を親機画面で確認出来る機能を搭載する事と、明示的に子機無し又は対象子機を限定して動作させる事を行うモードを追加する事を努力目標とするのが望ましいのではないかと思う。(紐付いている端末を表示して確認する事はある程度の大きさのモニタが無くては行い辛い事であるので、全機種には求めない。また、sXGP があったとしても、その機能を完全に封じて有線みの電話として使えるように出来るのは重要であると考え。これで利用者は安全安心を得る事が可能であるはずである。)</p> <p>また、合わせ、sXGP 通信でのについてのログ取得(発信、受信等)とそのログ表示についての機能の検討を行うべきであると考え。(機器による侵入警報等のログが電話機等において確認出来るのは望ましいはずである。(ただ、これについては親機又は、親機と有線でつながれた機器でのみ</p>	<p>本報告(案)への賛同意見として承ります。</p> <p>今回の検討では無線通信における技術的条件を検討したところであり、ご指摘された、デジタルコードレス電話の利用拡大に伴うセキュリティ等の観点に関しましては、今後、業界団体や製造メーカー等において、適切に対策を講じることが望ましいと考えます。</p>	なし

	<p>確認出来るようにするのが適切であると考え。無線は部屋外の者に対しても盗聴や改竄の機会を与えてしまうものである、各社がきちりと危険性を認識し、また消費者の不安に対応出来るような機器を開発するような体制としていくべきである。))</p> <p>利便性の重視によって、電話機を、電波犯罪や家屋侵入糸口入手のための端点としてはならないのであるが、この分科会で扱うかどうかは別として、総務省・経済産業省により、各家庭にある電話機がセキュリティ問題を抱え込まないようにしていただきたく思う。</p> <p>色々なユースケース、また被攻撃ケースとその対処法を共有し、犯罪者からの家庭侵入の危機とその発生可能性を防ぐようにしていただきたい。</p> <p>意見は以上である。</p>		
--	--	--	--